

兵庫医科大学キャンパス見学会を開催

平成22年8月2日、兵庫医科大学キャンパス見学会を実施し、212組350名の受験希望者・保護者にご参加いただきました。

当日は関入試センター長による入試概要の説明、内科学(リウマチ・膠原病科)の佐野主任教授による模擬講義「リウマチ治療の最前線」が行われた後、キャンパス見学や、医学教育シミュレーター展示・体験コーナー、在学生との交流コーナー、平成記念会館見学ツアー、個別相談会などにご参加いただきました。

参加した学生は「模擬講義がとても面白く、ますます医師になりたいという気持ちが強くなりました」「シミュ



レーターを体験できて勉強になりました」と医学への関心を深め、また「在学生との交流コーナーで色々な話を聞くことができ、参考にしたいと思います」と兵庫医科大学での学生生活をイメージしていただけたようです。



私立医科大学合同入試説明会・相談会を開催

平成22年8月21日、日本私立医科大学協会主催の私立医科大学合同入試説明会・相談会(大阪会場)を開催しました。合同入試説明会は7月～9月の間に東京①、名古屋、大阪、福岡、東京②、札幌の順に会場を移し、兵庫医科大学は大阪会場として開催しました。

当日は3-1、3-2、3-3講義室の3箇所に分かれて、各大学の担当者が約15分間ずつ、大学の特色や入試制度等について説明しました。並行して、2号館4階のセミナー室・チュートリアル室に大学ごとのブースを設け、個別相談を行いました。



兵庫医科大学4年生 トリアージ、除染訓練を実施

平成22年8月31日、4年生54人が、災害時や多数傷病者発生事故時において、負傷の程度を見分け、治療や搬送の優先順位を決める「トリアージ」の訓練を、9号館5階の講義室にて行いました。当日は、大型バスが横転、多数の負傷者が発生したと想定し、学生が医療者役と傷病者役に分かれて、それぞれ交代で訓練に取り組みました。傷病者役にはムラージュ(特殊メイクで外傷を模造する技術)を施し、医療者役の学生は、傷病者役の意識や外傷、呼吸数などをチェックしながらトリアージタグをつけていきました。

医療者役の宮崎慶宗さんは、「初めての経験だったので、誰の緊急度が一番高いのかの判断や、チームでの分担が難しかった。今後この経験を活かしていきたい」と感想を述べてくれました。また、傷病者役の香山恭子さんは、「重症度により優先順位が後になることもありま

すが、『後で診させていただきます』ということをきちんと伝え、安心させてあげたい」と、患者さんの気持ちも学びとった様子でした。

午後からは、放射性物質や化学物質の漏洩事故、生物化学兵器テロを想定した除染訓練を見学しました。資料棟前に除染テントを設営し、英国スタンフォードシャ救急局(特殊災害医療チーム)の今中氏に指導を受けながら、個人防護衣を着用した救命救急センターの医師・看護師が、汚染を受けた傷病者役(学生3人)の除染を行いました。

訓練を指揮した救命救急センターの橋本助教は、「訓練を実施しておくことで、いざという時に必ずその経験を活かすことができるはず」と、今回の訓練が有意義だったと総評されました。



財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位：千円)			
助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
(財)武田科学振興財団	心房細動と睡眠時無呼吸：延髄呼吸中枢による呼吸リズム調節と心房細動発生の検証	増宮 晴子 (生理学(生体機能部門))	3,000
日本ビタミン学会 ビタミンB研究委員会	ビタミンB1代謝調節機構に関する研究	野坂 和人 (化学)	145

平成22年度西日本医科学生総合体育大会(西医体)など活動報告

クラブ名		種目・部門	順位	備考	クラブ名	種目・部門	順位	備考
合気道部		個人段外の部	最優秀演武賞	(5年) 小森 友紀子	バレーボール部	男子団体戦	ベスト3 2	-
			最優秀演武賞	(4年) 田路 明彦		女子団体戦	2回戦敗退	-
		団体の部	優秀演舞賞	-				-
剣道部		男子団体戦	ベスト8	-	ヨット部	団体 (スナイプ級)	1 2位	-
		女子団体戦	予選落ち	-		団体 (国際4 7 0級)	1 4位	-
		男子個人戦	ベスト1 6	(2年) 木俣 米一	ラグビー部	男子団体戦	ベスト8	-
		男子個人戦	ベスト3 2	(5年) 渡邊 高志		女子個人の部 女子回転	1 1位	(5年) 守屋 友美子
		女子個人戦	ベスト3 2	(6年) 香山 尚美				(5年) 岩倉 亮
硬式庭球部		男子団体戦	2回戦敗退	-	競技スキー部 (平成2 1年冬季)	ノルディックリレー	9位	(4年) 岸野 恭平
		女子団体戦	ベスト8	-				(3年) 立花 章太郎
ゴルフ部		団体の部	2 4位	-				
サッカー部		男子団体戦	初戦敗退	-	※陸上競技部は本年度西医体に参加。			
柔道部		男子団体戦	ベスト1 6	-	アーチェリー部 (全日本医科学生アー チェリー大会)	男子団体戦	準優勝	(6年) 布施 慎也
		女子個人戦	ベスト1 6	(3年) 内田 啓子				(5年) 内橋 孝史
		女子個人戦	ベスト1 6	(1年) 堀 有里				(3年) 志村 雄飛
準硬式野球部		男子団体戦	ベスト8	-		女子団体戦	優勝	(6年) 馬場口 由佳
		女子2 0 0 m自由形	3位	(4年) 福井 美穂				(3年) 田所 麗
水泳部		女子4 0 0 m自由形	3位	(4年) 福井 美穂				
		男子団体戦	2回戦敗退	-		シングラウンド男子	5位	(6年) 布施 慎也
卓球部		女子団体戦	ベスト1 6	-			6位	(5年) 内橋 孝史
		男子個人戦シングルス	4回戦敗退	(4年) 貴志 豪俊			8位	(3年) 志村 雄飛
		男子個人戦ダブルス	4回戦敗退	(4年) 川端 一美		シングラウンド女子	準優勝	(2年) 竹内 真理子
				(3年) 河端 悠介			4位	(6年) 馬場口 由佳
			4回戦敗退	(4年) 貴志 豪俊			6位	(3年) 田所 麗
			(3年) 許勢 文誠	優勝	(1年) 小田 渉			
軟式テニス部		男子団体戦	初戦敗退	-	グリーンラウンド男子	準優勝	(1年) 関谷 友宏	
		女子団体戦	2回戦敗退	-		準優勝	(1年) 中谷 鈴香	
		男子個人戦	ベスト8	(2年) 赤木 直紀	グリーンラウンド女子	3位	(1年) 岡田 薫佳	
				(2年) 黒田 一毅		4位	(1年) 山田 佳那	
(全医体)	男子個人戦ダブルス	ベスト1 6	(2年) 赤木 直紀	ハーフラウンド女子		優勝	(2年) 伊藤 純子	
			(2年) 黒田 一毅		準優勝	(2年) 山上 真祐子		
バスケットボール部		男子団体戦	初戦敗退	-	女子6 0 m距離賞	6位	(6年) 馬場口 由佳	
		女子団体戦	初戦敗退	-				
バドミントン部		男子団体戦	準優勝	-				
		男子個人戦ダブルス	3位	(6年) 上村 尚				
				(6年) 中村 晃史				
			ベスト3 2	(6年) 遠藤 悠紀				
		女子個人戦シングルス	ベスト8	(5年) 吉川 哲平				
				(2年) 竹林 香織				
	ベスト3 2	(6年) 林 加奈子						

西医体を終えて

第62回西日本医科学生総合体育大会
評議委員 4学年次

貴志 豪俊

今回、伝統ある西日本医科学生総合体育大会(以下、西医体)において、主管の名古屋大学との橋渡し役である評議委員という大役を引き受けさせていただきました。至らぬ点多々ありご迷惑をおかけしましたが、各クラブならびに教務学生課の方々のご協力により、大会を無事に終えることができました。この場を借りてお礼申し上げます。

評議委員の仕事を通じて、これまでは参加するだけだった西医体の「準備する側」に参加することで、今まで知らなかった運営側の努力や苦労の一片を感じることができました。それと同時に他大学の方々との協力や連携など学ぶことも多く、私の大学生活でのとても良い思い出となりました。

また私自身も選手として参加した今大会の卓球部は、団体戦ベスト16を目標に部員一同が努力してきました。猛暑の中、部員一人ひとりが大会でベストを出せるよう日々練習した結果、女子がベスト16に入ることができました。男子はあと一步のところまで負けてしまい、勝負の厳しさを改めて感じました。後輩たちにはこの悔しさをバネに、さらに努力してよい結果に繋げてほしいと思います。

最後になりましたがいつも部活動を支えていただいている顧問の先生、OB・OGの先生方にはいつも大変お世話になっております。今後とも宜しくお願いいたします。



臓器移植に関する講演会・シミュレーションを実施

平成22年7月の改正臓器移植法の全面施行により、生前の本人の意思が不明でも家族の承諾を得られれば臓器提供が可能となり、また小児からの臓器提供も可能となりました。これを受け、兵庫医科大学病院は平成22年8月11日に兵庫県臓器移植ネットワーク コーディネーターの藤原さんと本学小児科学の谷澤主任教授による医療講演会(テーマ:「臓器移植に関する法律の一部改正」)を行い、111名の教職員が参加しました。

また、8月28日に「児童からの脳死下臓器提供」シミュレーションを実施し、約40名の医師、看護師、コメディカル、事務員等が参加しました。訓練は「女兒が自宅で心肺停止状態となって搬送され、脳死に近い状態

と診断された」という想定で小児人形を使用して行われ、虐待の痕跡があるかどうかのチェックや倫理検討会等における2回の法的脳死判定、臓器摘出に至るまでの一連の流れを確認しました。シミュレーション終了後には振り返りの場が設けられ、「実際の一連の動きを想定しながら確認することで、より理解を深めることができた」「これから態勢をしっかりと詰めたい」と参加者が意見を交わしました。見学に来られた近隣医療機関からも「参考にさせていただき、自分の病院でも実施したい。勉強になりました」との感想をいただき、有意義な訓練となりました。



講演する谷澤主任教授(左)と藤原さん(右)
(8月11日3-1講義室にて)



虐待防止対策委員会SCANチームによる
被虐待児スクリーニング



主治医と臓器移植コーディネーターが家族役の
職員に説明をしている様子

平成22年度看護学生インターンシップを実施

平成22年8月に今年度卒業予定の看護学生及び就業経験のない既卒者を対象とした兵庫医科大学病院看護部インターンシップを行い、総勢24名にご参加いただきました。

今年度は8月2日と9日の2回に分けて実施し、それぞれ3日間の日程で施設見学や内科系・外科系・ICU・NICU・小児科・救命救急センターなど希望の部署・病棟で看護体験をしていただきました。最終日には参加学生と担当看護師の懇親会を開催し、就職に必要なことなどを気軽に話し合える場を設けました。

NICUを見学した参加学生は「急性医療に関心があります。実習で行かなかったNICUを見学できて勉強になりました」「働いておられる方の笑顔が素敵でした。ご

家族に対するサポートや地域との連携も重要であることなどを教えていただきました」と話していました。



兵庫医療大学

兵庫医療大学オープンキャンパスを開催

兵庫医療大学をより多くの方に知っていただくために、平成22年8月7日・8日・21日・22日の計4回、オープンキャンパスを開催し、総勢約2500名の受験希望者・保護者の方にご参加いただきました。いずれも猛暑の中で行われ、来場者には受付で各学部資料と共に冷たいドリンクやうちわをお渡しし、各会場へご案内しました。

大学総合ガイダンスでは、松田学長による大学概要紹介をはじめ、各担当教員からチーム医療教育、入試・奨学金制度、学生生活支援・就職支援体制等についての説明がなされ、熱心に聞き入る参加者の姿でオクタホールは満席となりました。その後、各学部・学科ごとに実施された様々なガイダンスや体験実習、在学生交流コーナー、個別相談、キャンパスツアーなどにご参加いただきました。

来場者からは「とても明るい雰囲気で、チームやコミュニケーションを大切にしている大学だと思いました」「兵庫医科大学と連携しているのが魅力的に思いました」「キャンパスツアーでいろいろ回ることができたので、入学後のイメージが湧きました」などの感想を寄せていただきました。



【薬学部イベント】

実際の病院薬局を模した臨床薬学研修センターで、漢方茶体験や軟膏作り、生薬当てクイズ、バイタルサイン測定、無菌室エアシャワー、そして臨床現場でも活用されている分包機を使って粉薬の分包などを体験してもらいました。また、受験生には必須の受験必勝化学講座も行われました。



受験必勝化学講座



漢方茶体験



エアシャワー体験

【看護学部イベント】

看護の現場が分かるイベントが満載で、聴診器を使ってみよう(基礎看護)や心臓マッサージ・乳がんモデル(成人看護)、妊婦体験・赤ちゃんを抱っこ(助産・母性・小児看護)、50年後を体験(精神・地域・在宅・老年看護)などを体験してもらいました。



点滴の準備



赤ちゃんを抱っこ

【リハビリテーション学部理学療法学科イベント】

筋肉触診や車いす・義足などの物理療法などを体験してもらいました。また、学部別ガイダンスでは、本学の川口浩太郎教授にスポーツトレーナーとしての体験を語っていただきました。



筋肉触診



学部別ガイダンス

【リハビリテーション学部作業療法学科イベント】

手の装具体験、片マヒ体験、自助具や車いすでの調理体験、学生が作った作品の展示コーナーなどがありました。中でも学生相談コーナーは好評で、多くの受験希望者が入試に関する事、大学生活の事などを質問していました。



手の装具体験



学生の作品展



【共通教育センター展示】

人体模型・分子模型・パソコンでできる生活力チェックなどを学生が主体となって取り組んでいました。



【キャリアデザインセンター展示】

近年のキャリア支援プログラムの紹介や今年5月に行われた兵庫医科大学連携病院の会合同病院説明会の様子などを展示しました。

兵庫医療大学

第1期生のキャリア形成・就職支援について

平成23年3月に兵庫医療大学の看護学部とリハビリテーション学部から第1期生が卒業します。卒業後の長い人生を決める大切なこの時期、学生たちは国家試験対策や実習に加えて、さまざまな就職準備に取り組み、夢の実現に向けて頑張っています。兵庫医療大学ではキャリアデザインセンターをはじめ、教職員が一体となって学生のキャリア形成・就職支援を行っています。

ささやま医療センター見学会

8月3日・26日

平成22年6月にリニューアルオープンしたささやま医療センターの見学会が行われました。8月3日に看護学部の4年生3名が参加し、病棟や外来、看護師宿舎の見学後、看護体験や篠山市内散策などを行いました。26日にはリハビリテーション学部の4年生10名が参加し、病院見学後にリハビリテーションセンターや老人保健施設の見学も行いました。両日とも昼食時にはささやま医療センターで働いている先輩方から仕事内容や生活の様子などを聞いていました。



薬学部対象キャリアデザインガイダンス

8月10日

株式会社毎日コミュニケーションズの小西紀子氏をお迎えし、薬学部4年生を対象に「キャリアデザインガイダンス～薬学を学ぶことでひろがる、職業選択の可能性～」についてご講演いただきました。薬学部生を取り巻く環境や、就職活動のスケジュールについてもお話しいただき、参加した学生からは「就職はまだ遠い先のことだと思っていたが、今から考えていく必要があると思った」などの意見が寄せられました。今回の講座で薬学の知識をいかした職業にはどのようなものがあるかを学ぶことで、将来の仕事について考え始めるきっかけになればと思います。



リハビリテーション学部対象社会人スキル対策講座

8月30日

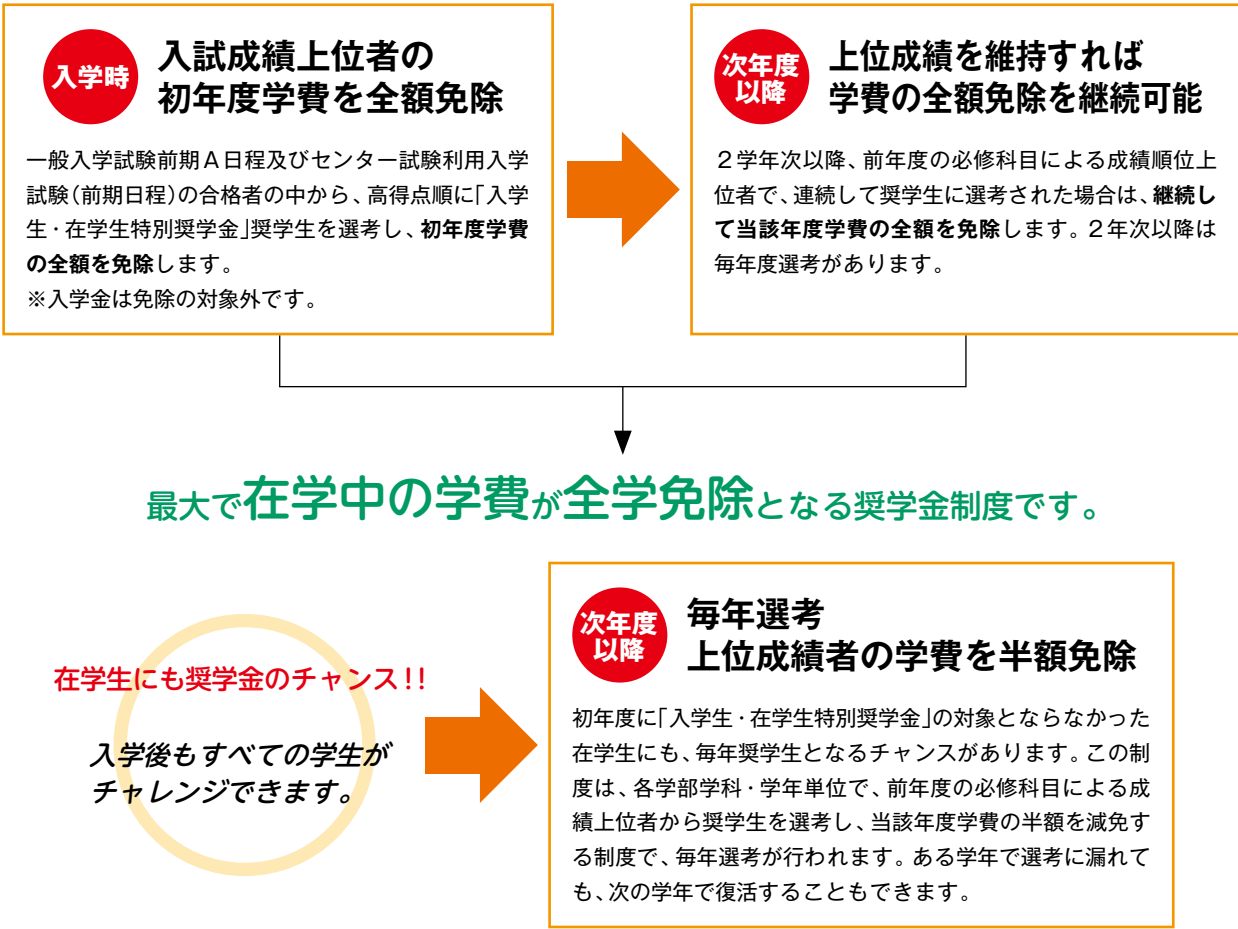
実習が終了し就職活動の本番を迎えたりハビリテーション学部の4年生を対象に、社会人スキルガイダンスが行われました。「就職活動マナー」「履歴書の書き方」「面接対策」について、株式会社毎日コミュニケーションズの小西紀子氏に実践や具体例などを入れてわかりやすくご講演いただきました。参加した学生からは「自分に不足している部分を改めて知ることができ、自分自身を見つめなおすきっかけができました」など、今回学んだことを実際の就職活動に活かして頑張りたいという前向きな感想が多く寄せられました。



兵庫医療大学

「入学生・在学生特別奨学金」制度がスタート

兵庫医療大学では、強い意欲をもって学習に励む学生の努力に応えるため、平成23年度より「入学生・在学生特別奨学金」制度を導入します。この制度は、入学試験上位成績者の初年度学費を全額免除し、さらに入学後に努力し、優秀な成績を維持した学生には継続して学費を全額免除するものです。



入学生・在学生特別奨学金制度の採用者数と学費免除額

	採用者数	入学生免除額	在学生免除額※
薬学部医療薬学科	各学年約10名	初年度学費(入学金除く)の全額 1,850,000円	当該年度学費の半額 925,000円
看護学部看護学科	各学年約4名	初年度学費(入学金除く)の全額 1,600,000円	当該年度学費の半額 800,000円
リハビリテーション学部 理学療法学科	各学年約2名	初年度学費(入学金除く)の全額 1,500,000円	当該年度学費の半額 750,000円
リハビリテーション学部 作業療法学科	各学年約2名	初年度学費(入学金除く)の全額 1,500,000円	当該年度学費の半額 750,000円

※入学時から継続して奨学生に選考された場合は全額免除となります

その他の兵庫医療大学独自の奨学金制度 (入学生・在学生特別奨学金と併用可能)

- 兵庫医療大学奨学金(給付)
入学者選抜試験における成績優秀者
※推薦入試(専願制)、一般入試前期A日程、センター試験利用入試前期日程は除く
- 兵庫医療大学奨学金(貸与)
修学に当り経済的な支援が必要な者
- 兵庫医科大学病院貸与奨学金(返済免除特典付)
看護学部 に在籍する学生で、卒業後、兵庫医科大学病院、兵庫医科大学ささやま医療センター、若しくは兵庫医科大学ささやま老人保健施設において、看護師又は助産師の業務に従事する意思のある者
- 兵庫医科大学ささやま医療センター奨学金(返済免除特典付)
看護学部 に在籍する学生で、卒業後、兵庫医科大学ささやま医療センター(ささやま老人保健施設を含む)において、看護師又は助産師の業務に従事する意思のある者

その他に利用できる学外の諸団体による奨学金制度

- 日本学生支援機構奨学金
- 地方自治体の奨学金
- 病院等による人材確保を目的とした貸与奨学金
- 民間企業などが設立した民間育英団体の奨学金

兵庫医療大学

薬学部主催高大連携イベント「高校教員向け理科実験講座」を開催

平成22年8月27日、M206薬学実習室にて高校教員向けの理科実験講座を開催しました。

本学では、将来、薬剤師、看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士などの医療に携わる職業に就きたい、もしくは興味がある、など医療に対する意識が高い高校生を対象に、体験実習や模擬講義といった大学での学びに触れていただく機会を提供し、高等学校との教育面における連携を図っています。

今回はその一環の「教員向けイベント」として、薬学部教員の指導による、高校の理科実験室でも簡単に実施でき、教育効果も上がる実験体験講座を行いました。

参加された高校の先生方は実験の様子を細かく記録し、実験内容や高校生を前に授業をする時のポイントなどを、薬学部教員に熱心に質問されました。また昼食後には、キャンパス内見学も実施されました。



「消化酵素を実感してみよう!」



唾液に含まれているアミラーゼを用いたデンプンの消化実験。取り上げる学習ポイントも複数あり、教育効果もあがる実験でした。

「クスリは、どこで溶ける?」



腸溶剤(錠剤)を用いてのクスリの崩壊実験。胃酸に見立てた酸性溶液と、腸内環境に見立てた弱アルカリ性溶液の中での、錠剤の溶解の違いを観察しました。

学校法人兵庫医科大学

規程等の制定・改正(規程等の全文は学内ネットに掲載)

No.	項 目	制定・改正の趣旨	制定・改正日
1	兵庫医科大学大学院学則(旧専攻)	平成18年4月1日に新専攻の学則が施行された後、旧専攻の学則を適用していた学生が全て満期退学又は修了したため旧専攻の学則を廃止する	平成22年9月28日
2	認知症疾患医療センター運営委員会規程	兵庫県認知症疾患医療センターの運営を、内科 神経・脳卒中科と精神科神経科が連携して実施できるよう、運営委員会の構成員を見直すため改正	平成22年9月7日
3	診療録管理規程	診療録の紛失、研修医への貸出禁止、他人名義での借用禁止についての条項を追加するため改正	平成22年9月21日
4	兵庫医科大学ささやま医療センター規程	篠山病院の副院長の担当制の廃止、内科の細分化その他診療科の新設等組織体制を見直し、ささやま医療センターとして発足したことに伴い、従来の「兵庫医科大学篠山病院規程」を改正	平成22年4月1日
5	兵庫医科大学ささやま医療センター部長会議規程	「兵庫医科大学ささやま医療センター規程」の施行に伴い、部長会議の構成員等の見直しを行い、従来の「兵庫医科大学篠山病院運営委員会規程」を廃止し、新たに「兵庫医科大学ささやま医療センター部長会議規程」を制定	平成22年4月1日
6	兵庫医療大学寄附講座規程	兵庫医療大学に個人又は団体からの寄附金をもって教育、研究等を実施する目的で寄附講座を設置するため制定	平成22年9月28日
7	兵庫医療大学専任教員の 新規採用手続きに関する取扱い内規	兵庫医療大学における専任教員の新規採用手続きに関する規程等の整備を行うため制定	平成22年10月1日
8	兵庫医療大学学則	兵庫医療大学リハビリテーション学部(理学療法学科及び作業療法学科)のカリキュラム改正に伴う改正	平成23年4月1日
9	学校法人兵庫医科大学西宮キャンパスにおける職員代表との協議会内規	大学と職員代表との相互の意思疎通と大学の円滑な運営・発展及び職員の労働条件の向上を目的として協議会を設けるため制定	平成22年9月1日
10	事務局管理職任期制度に関する暫定内規	事務局管理職の再任基準の詳細項目、再任審査委員会の構成等を追加・修正するため改正	平成22年9月21日
11	理事長特別賞設置要項	兵庫医療大学の卒業生に対し、兵庫医科大学と同様に理事長特別賞を授与するため改正	平成22年9月28日
12	学校法人兵庫医科大学懲戒規程	法人全体(西宮、神戸、篠山)としての懲戒規程及び懲戒委員会に関する規程を制定	平成22年9月28日
13	職員の定年に関する規程	法改正に伴う年金支給開始年齢の段階的引上げ、高齢者雇用確保措置の義務対象年齢の段階的引き上げに対応するため改正	平成22年10月1日

兵庫医科大学 兵庫医科大学病院 兵庫医科大学ささやま医療センター 兵庫医療大学 学校法人兵庫医科大学

学校法人兵庫医科大学



広報誌の読者アンケートを行います

いつも広報誌発行にご理解・支援くださりありがとうございます。
皆様の率直な感想をお聞きしたく、読者アンケートを行います。
より充実した広報誌にするために、アンケート回答にご協力ください。

アンケート用紙

締切：11月30日

教職員の方

グループウェア利用登録をされている方：グループウェアの「広報誌読者アンケート」からご回答ください。
グループウェア利用登録をされていない方：ホームページからダウンロードしてください。

学生の方

卒業生、保護者、その他の方

ホームページからダウンロードしてください。 広報誌と同封のアンケート用紙に回答して送付してください。
(学内の広報誌設置場所にもアンケート用紙を置いています) または、ホームページからダウンロードしてください。

学校法人兵庫医科大学 ホームページ(広報)

URL：http://www.corp.hyo-med.ac.jp/guide/activity/public/

送付先(グループウェア利用者以外)

西宮キャンパス	兵庫医科大学 広報課(10号館2階)の回収BOXに投函か、下記へFAX又はメール
神戸キャンパス	兵庫医療大学 センtralオフィスの回収BOXに投函か、下記へFAX又はメール
卒業生、保護者、その他の方	下記へFAX又はメール

学校法人 兵庫医科大学 総務企画部 広報課

メール：kouhou@hyo-med.ac.jp FAX：0798-48-6261 (TEL：0798-45-6655)

学校法人兵庫医科大学

株式会社エイチ・アイから医療機器の寄贈

平成22年8月31日、10号館5階病棟において、
本学の100%出資事業会社である株式会社 エイチ・アイから、兵庫医科大学病院に各種医療機器が寄贈されました。飯田代表取締役社長から目録が贈呈され、太城病院院長が感謝の意を表されました。

株式会社 エイチ・アイからは、これまでもイーバックチェア、バスケットストレッチャー、車椅子入浴装置などを寄贈頂いており、このたび寄贈頂きました機器も、患者さんのために院内で広く活用させていただきます。
今回寄贈頂いた医療機器と寄贈先部署は下記の通りです。



左から飯田社長、太城病院長

寄贈品目	台数	寄贈部署
浴室用ストレッチャー	2	救命救急センター、1号館7階西
シャワー用車椅子	2	10号館5階、1号館11階西
車椅子(下肢伸展)	4	1号館9階西・10階西・東、ICU
洗髪用リクライニングチェア	4	10号館6階・7階・8階・9階
四輪歩行器(折りたたみ式)	2	1号館6階西・8階西
ローラースライド	3	10号館4階、1号館9階東、人工透析室
ソフィア(体圧分散式マットレス)	9	10号館1階ベッドセンター

学校法人兵庫医科大学基金 状況報告

本学法人は、平成21年4月1日に学校法人兵庫医科大学基金を創設し、継続的な募金活動を開始するとともに、基金の活動を支援する組織として学校法人兵庫医科大学兵医・萌えの会を設け、その会員の皆様から会費を寄付金のかたちで募り、基金の運営に寄与することとしております。

寄付活動を開始して以来、患者様をはじめ、後援会会員、緑樹会会員、名誉教授、退職者等は言うに及ばず、協力医療機関や関連企業等の幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

皆様方からご寄付いただきました貴重な浄財は、教育・研究環境の整備や学生への奨学金等の支援を通じて、社会への貢献・還元のために使用させていただきます。

今後とも引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

(募金推進室)

H21.1.1～22.8.31

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	88件	19,555,000円	110件	7,732,498円	198件	27,287,498円
入 金	83件	17,855,000円	107件	7,462,498円	190件	25,317,498円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H22.7.1～22.8.31

企業等法人(9法人)			教職員(2名)		
500,000円	株式会社	エイチ・アイ様	(ご芳名のみ記載) 鈴木 敬一郎様		
100,000円	有限会社	エイチ・アイ・サービス様			
(ご芳名のみ記載)			その他個人(11名)		
株式会社	きんでん様	匿名 2社	50,000円	山崎	光二様
パラマウントベッド株式会社様			50,000円	河村	恵様
東京メディカルサポート株式会社様					
フジテック株式会社大阪支社様					
株式会社	ゼロワン様				
関連病院等(3法人)			(ご芳名のみ記載)		
(ご芳名のみ記載)			森口	久雄様	匿名 4名
			山田	三和子様	
			山田	健太郎様	
			谷口	俊夫様	
社団法人日本海員救済会	神戸救済会病院様	永岡	玲子様		
医療法人ラポール会	青山病院様				
医療法人社団一葉会	佐用共立病院様				

兵庫医療大学のための募金 状況報告

「兵庫医療大学」のための募金活動を平成18年5月に開始して以来、これまでに教職員をはじめ、後援会(保護者)、緑樹会(卒業生)、名誉教授、退職者等(676名)は言うに及ばず協力医療機関や関連企業等を始めとする幅広い方々から、温かいお申し込みを賜り、誠に有り難く、厚くお礼申し上げます。

本学法人といたしましては、ご協力賜りました方々のご芳名を大学広報に掲載させていただき、感謝の意を表したいと存じ、下記のとおり報告させていただきます。

皆様からご寄付いただきました寄付金を兵庫医療大学の教育研究用施設整備等充実のために利用させていただくとともに、これからも全力で大学の合理化推進等により、必要資金確保に向けて自主的努力を重ねてまいります。加えてぜひとも関係各方面からの更なるご支援を仰ぎお力添えををいただきたく、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(募金推進室)

H18.5.2～22.8.31

区 分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合 計	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
申 込	358件	737,692,347円	692件	252,060,000円	1,050件	989,752,347円
入 金	355件	734,692,347円	692件	251,640,000円	1,047件	986,332,347円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧

H22.4.1～22.8.31

企業等法人(3法人)		教職員(4名)	
1,000,000円 株式会社 光洋様	匿名 2社	250,000円 網島 ひづる様	
後援会(1団体)		(ご芳名のみ記載)	匿名 1名
30,000,000円 兵庫医科大学 後援会様		大町 弥生様	
		木村 亜紀子様	



～海外で活躍する研究者からのメッセージ～



せき えきひろ

石 亦宏

University of California San Diego, School of Medicine

Department of Medicine

Assistant Professor

学生時代の私は、将来の明確なvisionというものが、まだ、はっきりありませんでした。外科手術と基礎研究の両方へのあこがれがあっただけでした。卒業当時、両方をカバーしているのは、どうも、第一外科学教室らしいという情報をバスケットボール部の先輩から得て、その



San DiegoのUCSD周辺の街角：ある交差点

門を叩きました。

当初は、厳しい外科の世界で自分はやっていけるのだろうかと不安だけでした。外科教室で学んだものは、外科手術の知識や技術

略歴
平成6年 兵庫医科大学卒業、同 第一外科入局
平成8年 尚和会第一病院 外科
平成10年 協和会協立病院 外科
平成11年 兵庫医科大学大学院入学(平成14年 修了)
平成16年 Columbia大学, Postdoctoral Fellow
平成19年 UCSD, Assistant Research Scientist
平成22年 現職

だけでなく、医師には強い責任感が必要であるという事でした。当時の外科学藤元講師(現主任教授)から基礎研究の魅力を見せられ、また、勤めもあり、外科学教室の大学院生として、免疫学・医動物学教室の中西教授の研究室の門を叩きました。

当時インターロイキン18(以下IL18)発見直後であり、兵庫医科大学全体に研究熱が高かったと思います。そこで、世界に注目される研究を目の当たりにしました。そして、基礎研究の魅力にどんどん取り憑かれていきました。当時、IL18受容体関連分子Toll受容体の研究が世界で始まったばかりでした。外科教室の研究テーマである肝臓領域では、その頃、Toll受容体研究は未開拓領域でした。そこで、肝臓のToll受容体に注目して研究をスタートしました。まずは、細胞レベルでの解析、そして、動物実験へと徐々にその範囲を広げていきました。アメリカでの研究環境は非常に充実したものがありますが、今の研究の基礎となるものは、すべて兵庫医科大学にあるということを知って欲しいと思います。



San Diego-La Jolla海岸：野生のアザラシが戯れています

多彩人 “絵画を愛する”多彩人

中央放射線部 看護師長
森下 裕子さん

中央放射線部 看護師長の森下 裕子さんは、6年ほど前から油絵や水彩画を描き始め、学内の絵画同好会の発起人でもある。大学祭や院内でも作品展示の機会があり、患者さんと職員の目を楽しませている。娘さんが小学生の時に描いた運動靴や車椅子のリアルさに驚き、「年齢も経験も関係なく描けるのだな」と思ったことが、自身も絵



画に挑戦するきっかけに。

「色を重ねて、平面から立体や奥行きが生まれる不思議さや、絵を眺めては描き直し、描き直すと、絵を完成させていくゆったりした時間が絵画の魅力」と笑顔で語る。「景色やモノを色んな角度から見たり、覗いたり、絵にしたらどうなるかを考えて見るようになった」と、日々の暮らしにもちょっとした変化があったそう。

絵画の楽しさを生き生きと語る姿が印象的な森下さんを慕って、絵画同好会のメンバーも集まっているという。「絵画の楽しさを一人でも多くの人に知ってもらって、楽しみを共有できれば」と、絵画同好会の活動の輪を広げることも今後の目標のひとつだ。



ずっと見ていられるような、ホッとできる絵が好きで、最近に残ったのは、仏像を描いたこととか。

さまざまな分野で才能を開花させている、極めている、アクティブに活動している”多彩人“の情報をお待ちしています。自薦・他薦は問いません。総務企画部広報課までご連絡ください。
<電話：0798-45-6655 メール：kouhou@hyo-med.ac.jp>



中央放射線部は、複数の診療科が利用する部門で、画像診断センター、I V Rセンター、放射線治療センターの3部門に分かれています。単純撮影・CT・MRI・TV・血管撮影・放射線治療の各分野の放射線診療を行っており、現在、37名の放射線技師が所属しています。うち、乳房撮影認定技師(精中委認定)が9名おり、全て女性の専門技師が撮影を行っています。大学病院ならではの幅広い診療に対応できるよう、配属されて数年は、各部門を順に回り、放射線技師としての経験を積みます。部門内では、週1回勉強会を開催し、持ち回りで発表を行ったり、月1回は、先輩技師に基礎から臨床まで幅広く知識を教えてもらう講習会もあり、更に専門の知識習得を目指しています。

REPORT 職場レポート

放射線のスペシャリストとして、業務のかたわら日々勉強しています

兵庫医科大学病院 中央放射線部 放射線技師 いしまる ふ み こ 石丸 芙美子さん いけうち よう こ 池内 陽子さん(左から)

患者さんの不安を和らげるのも仕事のひとつですー石丸さん

高校生の時、生物や生態などの授業で人体の構造に興味を持ち、医療系の仕事を意識しました。そんな中、メスを使わずとも体の構造が分かって、診断も治療もできるという放射線技師の仕事を見つけたのが、この仕事についたきっかけでした。



現在は、乳房撮影及び、放射線治療を担当しています。乳房撮影では、検査時に患者さんと2人きりになり、緊張感を伴いますので、検査前の説明を十分に行ったり、撮影中も声をかけるなど、患者さんの不安を取り除いて、リラックスしてもらえるよう心がけています。

放射線治療は、長期にわたる場合が多く、毎日顔を合わせる患者さんもおられるので、積極的に声をかけ

るようにしています。最近では顔色を見て、体調の良し悪しがわかるようになってきました。また、治療の際には、照射線量や照射範囲など、1つ1つの確認を怠らないよう、日々取り組んでいます。

もともと放射線治療に携わりたと思っていたので、今後更に専門性を高めるため、現担当の間に放射線治療専門技師の資格を取得できるよう勉強中です。病院外の学会や研究会等にも参加して、常に向上心を持ち続けて仕事をしていきたいと思っています。

短い時間の対面だからこそ、その時の印象が大切ー池内さん

現在は、画像診断センターで一般撮影を担当しており、外来の患者さんの撮影では、午前中で30人前後の対応をしています。患者さんをお待たせすることのないように、素早くかつ正確な撮影を心掛けています。外来の撮影では、多くの患者さんと接することになりますが、1人の患者さんとは、ほとんどが撮影時の短い間だけのやりとりになりますので、その時の印象が大切だと思って、

笑顔で明るい対応を心掛けています。撮影の際、体調の悪い患者さんには、医師の指示通りの撮影が難しい場合もあります。そんな時は、患者さんの体を起こして支えたりと、思っていた以上に力を使うことが多いですね。どうしても難しい場合には、患者さんに安全に撮影を受けてもらえて、診断のために最善の撮影ができるよう、医師と調整を行ったりもしています。

大学病院ということで、幅広い経験ができるのはとても幸せだと思っています。その利点を生かして、たくさんさんの知識と経験を身につけ、更にスキルアップしていきたいと思っています。



REPORT 職場レポート

人に優しく、自分に厳しく！

兵庫医科大学病院 看護部 1号館10階東病棟 看護師 きもと よういち 木本 洋一主任 かわさき あかね 川崎 茜子さん(左から)

いつも笑顔で、時に厳しく、スタッフをサポートしたいー木本さん

9年間のI C U勤務を経て、3年前に配属にされました。I C Uとはまた異なった忙しさで、多くの患者さんに対して個々のケアも多く、「患者さんとよい関わりができているだろうか？」と心配になることもありました。今は充実したクリニカルパスを活用し、笑顔で患者さんをサポートできていると思います。また、主任として病棟内のさまざまなことに関わり、問題があれば早期に解決できるよう取り組んでいます。

「看護師になる」と心に決めたのは中学2年生の頃です。母が看護師として働く姿がとてまかつこよく、母の「看護師は男性・女性に関係なくて



きる仕事」という言葉に背中を押してもらいました。もちろん、社会で働くということは甘いことではないですし、看護師として独り立ちするまでに時間はかかりますが、必ず乗り越えられると思います。兵庫医療大学の看護学部生にも、今のうちにやりたいことをして学生生活を楽しみながら、自分の目標にあった看護師を目指してほしいと思います。

「自分の家族が入院した時に安心できる」ケアをー川崎さん

入職して2年目で、後輩をサポートしながら自分自身を見つめなおす機会が増えました。少しは余裕ができてきたかも？と思いますが、まだまだ反省することも多いですね。患者さんには、もし自分の家族が入院した時

1号館10階東病棟は脳神経外科と整形外科の病棟です。検査や治療・手術、リハビリテーションなど多くのケアを、安全かつスムーズに受けしてもらえるよう、32名のスタッフがサポートしています。

特に、脳神経疾患の患者さんは意識が不安定であることが多いため、Glasgow Coma Scale(GCS)を使用して意識レベルをチェック・監視するなど、専門的な知識が求められます。スタッフ一人ひとりが確実なケアを行い、また互いに支えあう体制が、田中師長を中心に整っています。忙しい中でも常に笑顔を絶やさない、活気あふれる職場です。

に「してもらって嬉しい」「安心して任せられる」と感じてもらえるようなケアを提供したいと思っています。病棟には自ら言葉を発することができない患者さんがおられますので、先輩方に指導していただきながら、僅かな変化を見逃さないように注意しています。来年からはリーダーとして、チームと医師とを繋ぐ役割を担います。私は一つのことに集中しやすい性格なので、忙しい時ほど冷静になるようにして、一つひとつのケアを丁寧に行いたいと思います。病棟内外にいる同期や同窓生とはよく話をします。互いに共感したり、また客観的に見たり、色々な考え方ができて助かっています。休日に旅行をするのが好きで、最近ではハワイでマリンスポーツをしたのが楽しかったです。





医療技術部門 ME室は平成22年6月にささやま医療センターがリニューアルオープンした時に新設されました。現在、1名の臨床工学技士がセンター内のさまざまな医療機器の保守管理業務を行っています。他にも、心臓カテーテル検査・治療の立会い、ペースメーカー関連業務、血液浄化関連業務、人工呼吸装置の管理、機器トラブル等の対応、医療安全管理室メンバーなども担当しています。「もっと臨床工学技士の役割を知ってほしい」との思いで、院内を走り回って頑張っています。

REPORT 職場レポート

患者さんの安全を医学と工学の両面からサポート

兵庫医科大学ささやま医療センター 医療技術部門 ME室 臨床工学技士 田中 恵介さん

新設の臨床工学室で働いています

臨床工学技士になって11年目の平成22年4月に旧篠山病院に着任し、同年6月のささやま医療センターの開院にあわせて、臨床工学室の開設に関わってきました。ゼロから作り上げる過程には難しいことも沢山ありますが、その分やりがいがあります。公立病院での臨床工学室立ち上げにも携わったことがあり、その経験を活かしたいと思っています。

漠然と医療への関心があった高校生の頃に、祖母の入院がきっかけでこの職業を知りました。当時は他の医療従事者と比べてあまり知られていないという状況において、逆に興味が増しました。こういった好奇心の旺盛さも、「臨床工学室の立ち上げ」



といった新しいことに取り組む原動力になっていると思います。

患者さんの安全を第一に

機器類の保守管理をしていると、経験したことが無いような不具合が起こる場合があります。臨床工学技士はどのような時でも患者さんの安全を第一に優先し、治療が滞りなく行われるよう冷静に対処しなければいけません。そのためには常にスキルアップを心がけ、情報収集を怠りません。臨床工学技士会やメーカーの講習会などを通して、最新の知識を深めるようにしていますし、兵庫医科大学病院の臨床工学室に相談させていただくこともあります。

意外と思われるかもしれませんが、患者さんと接することも多々あります。医師や看護師とは違った感覚で話がしやすいのか、いろいろとお話をしてください。「患者さんに安心して治療を受けていただいている」と思うと、とても嬉しいですね。

臨床工学技士のニーズを拡げたい

機器類は定期的な保守点検を行う

ことで、その故障を防ぎ、安全な治療環境に繋がります。そして長く使い続けることが出来れば、長期的なコストの面でも良い方向に持っていけるのではないのでしょうか。

そのためには、臨床工学技士がもっと院内で活躍し、少しでもその役割を理解してもらう必要があります。まずは依頼された仕事は可能な限り引き受け、一つひとつを丁寧に行うことを心がけています。そして、例えば、ただ修理するだけでなく「使い方のコツ」なども一緒に教えてあげるなど、付加価値のある仕事をしていきたいと思っています。



休日に子どもたちと遊ぶことが何よりのリフレッシュです。篠山には着任と同時に家族と引っ越してきましたが、自然が多くて美味しいものが沢山。いい所です。

健康と福祉に貢献する

医療機器・医用電子機器・衛生材料
アンギオ用カテーテル・内視鏡製品
整形外科用器械・病院設備全般

YAYOI
Corporation



□本社／姫路市古二階町3番地 〒670-0936
TEL 079(224)5151(代) FAX 079(224)2024

花COな暮らし
hanacona
ハナコナ

毎月1回 花材をお届け
草場観月監修
「茶趣の花」
基本マニュアル(初回のみ)
・生け方マニュアル付き。
月2,520円より

お問い合わせ・ご注文は、**0120-81-8757**
受付時間:10:00~17:00(土日・祝日を除く)

株式会社ジーエーサービス ハナコナ『茶趣の花』係
〒811-2304 福岡市糟屋郡粕屋町仲原2924-17



ホームページデザイン制作 サーバ構築・ホスティング

美しいデザイン 便利な機能 迅速な対応 きめ細やかなアフターサービス

お気軽にご相談ください。 担当:糸谷
株式会社 小西印刷所
〒663-8225 西宮市今津西浜町2番60号
Tel / 0798-33-0691(代)・0798-36-3636(代)
Fax / 0798-35-1333
URL http://www.konishi-p.co.jp

学校法人 兵庫医科大学 事業法人

株式会社 **エイチ・アイ**
有限会社 **エイチ・アイ・サービス**

「事業会社の自由な発想」と

「何でもチャレンジの機動力」

をモットーに、大学への貢献、皆様へ「お役立ち」を目指します。

各種斡旋：レンタカー割引、家電製品、引越業者紹介他
保険設計：団体扱生命・損害保険、「学生総合補償制度」
取扱い等々・・・ お気軽にお問合せ下さい。

西宮市武庫川町1番1号 兵庫医科大学6号館2F
Tel：0798-45-6656 / 6673
HP：http://hi-hyogo.com/hi.html



三井住友銀行

●西宮支店

〒662-0918 西宮市六湛寺町14-12

TEL (0798) 33-5271

窓口 平日 9:00~15:00

ATM 平日・土曜 8:00~23:00、日曜 8:00~21:00

●兵庫医科大学出張所(ATMのみ)

ATM 平日 8:45~19:00、土曜 9:00~17:00

広報

兵庫医科大学 兵庫医療大学

2010年10月号 vol.208

発行日／平成22年10月25日

発行／学校法人兵庫医科大学
総務企画部 広報課
兵庫県西宮市武庫川町1番1号
TEL:0798-45-6655
FAX:0798-48-6261
E-mail:kouhou@hyo-med.ac.jp
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/

印刷・製本／株式会社ゼネラルアサヒ